

林木遺伝資源情報

第2号 - 5 2002.9
独立行政法人 林木育種センター



林木遺伝資源保存林シリーズ No.4

モミ *Abies firma* Sieb. et Zucc. の林木遺伝資源保存林

林木育種センター 遺伝資源部 上 野 真 一

1 はじめに

モミは主としての暖温帯上部から冷温帯下部の移行帯に生育する樹種であり、本州（秋田県、岩手県）から南九州（屋久島）まで分布しています。端正な樹形が美しい樹木で、高さ40m、径1.5mにも達しますが、比較的寿命は短くせいぜい150～200年です。材は淡黄白色で美しく、彫刻、家具、建築材等として利用され、またパルプ材としても有用です。しかしながら、耐久性に乏しく、狂いやすいという欠点があり、構造材には不向きであるため、スギ、ヒノキの人工造林の拡大とともにモミ資源は減少の一途をたどりました。また、大気汚染にも弱いいため、残存する天然林の保存が急務とされている樹種です。

以下に、モミ（*Abies firma*）の林木遺伝資源保存林の現況を紹介します。

2 林木遺伝資源保存林の概況

モミについて、育種基本区別森林管理局（分局）別に設定箇所数と面積を表 - 1 に、設定箇所の位置図を図 - 1 に示しました。

モミの林木遺伝資源保存林は、宮城県の石巻市から鹿児島県宮之城町まで21箇所の林分に設定されています。一般にモミは多雪地帯である日本海側には



図 - 1 モミの林木遺伝資源保存林位置図

ごく少なく、多くは太平洋側に分布しており、保存林も太平洋側に集中しています。

面積は合計で約1,000haにも及び、保存林全体の1割を占めていますが、実際のところモミの分布は林分の中で尾根筋など土壌層の薄い箇所に限られます。そのような立地のもとに稀に純林を形成しますが、たいていはツガ（*Tsuga Sieboldii*）と混生し、モミ・ツガ林を構成しています。

また、前述のようにモミは移行帯に生育するため、モミの林木遺伝資源保存林には、ブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹を含む林分、アカガシ、ウラジロガシ等の常緑広葉樹を含む林分、それらの両方を含む林分があり、冷温帯要素と暖温帯要素が入り交じった多様な林分であることが特徴です。

3 代表的なモミの林木遺伝資源保存林

以下に代表的なモミの林木遺伝資源保存林を北から南の順に紹介します。

表 - 1 モミの林木遺伝資源保存林の設定箇所数と面積

| 育種基本区 | 森林管理(分)局 | 箇所数 | 面積 ha |
|------------|-----------|------|---------|
| 東北 | 青森分局 | 1 | 8.2 |
| 関東 | 東京分局 | 4 | 506.3 |
| | 中部森林管理局 | 1 | 71.5 |
| | 小 計 | 5 | 577.8 |
| 関西 | 近畿中国森林管理局 | 7 | 176.1 |
| | 四国森林管理局 | 2 | 89.7 |
| | 小 計 | 9 | 265.8 |
| 九州 | 九州森林管理局 | 6 | 221.6 |
| 合 計 | | 21 | 1,073.4 |
| 全保存林に占める割合 | | 6.3% | 11.7% |

〔青森モミ22林木遺伝資源保存林〕

モミ天然分布の北限に近い保存林で、成熟したモミが90%以上を占めています。

| | | |
|----|------------------------------------|------------------------------------|
| 所在 | 宮城県牡鹿郡牡鹿町 北緯38°18' 東経141°32' | 駒ヶ嶺国有林10林班 |
| 地況 | 面積：8.20ha 標高：220m～250m | 温量指数 85 降水量1300mm/年 |
| 林況 | 立木 モミ：平均胸高直径 34cm、510本・579m³/ha | 稚幼樹 モミ：0本/ha、下層 植生：ムラサキシキブ・カンスゲ |

〔東京モミ・ツガ・カヤ5林木遺伝資源保存林〕

房総半島の重要な保存林です（写真1）

| | | |
|----|------------------------------------|-------------------------------------|
| 所在 | 千葉県君津市 北緯35°11' 東経140°06' | 小坪井国有林60、63、 64林班 |
| 地況 | 面積：170.30ha 標高：120m～280m | 温量指数 110 降水量2220mm/年 |
| 林況 | 立木 モミ：平均胸高直径 54cm、127本・220m³/ha | 稚幼樹 モミ：500本/ha、下層 植生：ユズリハ・ウラジロシダ |

〔大阪モミ・ツガ5林木遺伝資源保存林〕

紀伊半島の南に位置する年降水量が3,000mmにも及ぶ地域の保存林です（写真2）

| | | |
|----|----------------------------------|-----------------------------------|
| 所在 | 和歌山県日高郡美山村 北緯33°59' 東経135°23' | 西ノ河原国有林37、40 林班 |
| 地況 | 面積：44.50ha 標高：800m～1070m | 温量指数 86 降水量3000mm/年 |
| 林況 | 立木 モミ：平均胸高直径 48cm、50本・88m³/ha | 稚幼樹 モミ：40本/ha、下層 植生：ミヤマニシキ・ササ類 |

〔大阪モミ・ブナ・ミズナラ・ミズメ・トチノキ・

クリ8林木遺伝資源保存林〕

最大積雪深が300cmにも及ぶ地域の保存林で、モミの他ブナ等の落葉樹を多く含みます（写真3）

| | | |
|----|----------------------------------|--------------------------------|
| 所在 | 兵庫県宍粟郡波賀町 北緯35°15' 東経134°32' | 音水国有林103林班 |
| 地況 | 面積：9.70ha 標高：670m～900m | 温量指数 99 降水量1946mm/年 |
| 林況 | 立木 モミ：平均胸高直径 29cm、20本・12m³/ha | 稚幼樹 モミ：2000本/ha、 下層植生：チャボガヤ |

〔熊本モミ・イチイガシ・ウラジロガシ・ミズメ・

タブノキ・イスノキ38林木遺伝資源保存林〕

モミ天然分布の南限に近い保存林でカシ類等の常緑広葉樹を多く含みます（写真4）

| | | |
|----|---------------------------------|-------------------------------|
| 所在 | 熊本県人吉市 北緯32°06' 東経130°43' | 間国有林30林班 |
| 地況 | 面積：8.50ha 標高：500m～650m | 温量指数 95 降水量2241mm/年 |
| 林況 | 立木 モミ：平均胸高直径 94cm、7本・87m³/ha | 稚幼樹 モミ：0本/ha、下 層植生：サカキ・シキミ |



写真1 東京モミ他5林木遺伝資源保存林



写真2 大阪モミ他5林木遺伝資源保存林



写真3 大阪モミ他8林木遺伝資源保存林



写真4 熊本モミ他38林木遺伝資源保存林